

小学生「水族館」つくろう



お魚ちようちんづくり子どもたちは夢中になっていた。福山市沼隈町

福山で海に親しむツアー

夏休みに海に親しみ、その魅力を知ってもらおうと、小学生を対象にした体験ツアー「みんなやればできるプロジェクト」が24、25の両日、中国四国地方の沿岸5カ所であった。県内では福山市沼隈町のツネイシしまなみビレッジを中心にあり、16人の児童が参加

この体験ツアーは実行委員と日本財団の主催（中国四国農政局、せとうち観光推進機構後援、朝日新聞社特別協力）。昨年初めて県内で実施され、今年も隠岐の島（島根県）、小豆島（香川県）、前島（岡山県）、大津島・周防大島（山口

県）にも広がった。

広島でのテーマは「せとうち水族館をつくろう」。大きな紙に海の生き物を描いたり、魚の形をした「お魚ちようちん」に絵の具やフェルトペンで好きな色をつけたりして、自由な発想で海の世界を表現した。

24日にお魚ちようちんづくりでは、子どもたちは長さ18センチ、高さ12センチほどの魚の形をした真っ白なちようちんに、虹のように色をつけたり、ハートや星のマークをいっぱい散らしたり。尾びれや腹びれをのり付けして乾かして、最後にLEDライトをおなかの部分に入れて完成した。

赤と白に上下分かれたお魚ちようちんをつくらった福山市熊野町の上手瑛史君（8）は「大好きなカープをイメージしてつくりまし

た」。子どもたちはこの日、尾道市浦崎町沖でカッター訓練にも挑戦し、長いオールに悪戦苦闘しながらこいでいた。広島市東区の

山田くるみさん（8）は「揺れるのが楽しかったです」と話していた。子どもたちがつくった「せとうち水族館」は8月

13日～9月4日の土日、広島市安佐北区の安佐動物公園であるナイトサファリで点灯して飾られる。

（広津興一）